



WILD BIRD SOCIETY OF JAPAN · SAITAMA

しらこぼと

2018.4

No.409

日本野鳥の会 埼玉

S H I R A K O B A T O



1年に1回だけ30年の記録 さぎ山記念公園周辺探鳥会

海老原美夫(さいたま市)

さぎ山記念公園周辺探鳥会は、1989年(昭和64年、1月8日から平成元年)1月3日(火)が1回目、今年1月4日(木)に30回目を迎えました。年1回の開催で、平成の年と同じ数字の回数を重ね、延々30年続いたわけです。その30年間を振り返りました。

●発端・コースなど

第43回愛鳥週間全国野鳥保護のつどいキャンペーン行事として、埼玉県の後援を受けて開催されたのが第1回でした。さぎ山記念公園を出て、鷺山の一部があった屋敷林などを観察して見沼田んぼに。野田小学校付近から加田屋川沿いに戻り、見沼自然公園を通過して戻る2.5kmほどの短いコースです。

2008年(平成20年)までは1月3日開催でしたが、2009年(平成21年)からは路線バスの時刻表が事前に分かりやすい1月4日に変更しました。探鳥会終了後に年始の懇親会を設けるのが恒例でした。

●30年間の全リスト

次ページ表の通りです。30年間の延べ参加者数は1,616人、1回平均53.9人。観察種は14目29科47属72種におよび、1回平均37.6種でした。1年間の内冬の1日だけで、コースが短く、それほど変化に恵まれない環境の割には、多くの種数が観察されたと言えるのではないのでしょうか。

コジュケイは日本鳥学会『日本鳥類目録改訂第7版』で「1919年に神奈川で放鳥された外来種」とされていますが、県内に生息する野鳥として記録することが必要と考えられ、県内鳥類目録には入れられています。表にも入れました。

●表から分かることの一部

見沼自然公園は1994年(平成6年)3月に開設されました。その何年か前から造成された池に水が入ったので、そのころから、カモ類が増加したことが見て取れます。

屋敷林から田んぼに出る地点で、多い時は20羽ほどのタゲリの舞いが楽しみでしたが、見える機会が明らかに減りました。タシギ、クサシギ、イソシギなども同様です。コース内の水面につながる干潟状の部分はずっと少なかったのですが、その減少に加えて、田



2018年1月4日 見沼自然公園で

んぼ全体の乾燥化が進んだことを物語っているように思えます。

オオジュリンが減ったのは、かつては冬の間刈り取られない枯れヨシ原が広がっていたのが、全て刈り取られるようになったせいでしょうか。

カモ類以外でははっきり増加したのは、バンとオオバンです。カモ類に少し遅れて、見沼自然公園内の池に定着しました。

まだ観察例が多くはないけれど、最近増加傾向にあるのは、ハイタカ、エナガ、アトリ、ウソなどです。これらはこの地域だけではなく、例えばさいたま市西部の秋ヶ瀬公園などでも、前より多く見られるようになっているように思われます。

1回だけ見られた比較的希少な種は、2011年(平成23年)のオジロビタキと、2018年(平成30年)のトモエガモです。トモエガモは2011年(平成23年)12月にも飛来しましたが、残念ながら間もなく姿を消し、探鳥会は間に合いませんでした。今回は前年末から滞在し続けて、参加者全員がゆっくり見ることができました。

●終わりに

新年の挨拶を兼ねて、楽しみながら鳥を見て歩くだけでも、その記録が積み重なることで、自然環境を知る貴重な資料になります。30年間支えて下さったご参加の皆様とリーダーたち、関係のすべての方々へ感謝します。



野鳥情報

蓮田市西城沼公園周辺 ◇12月8日、垣根の上でアカハラがジッとしていた。ここで何年ぶりかのアカハラだ。12月15日、ナンキンハゼの実には野鳥が大好きようだ。スズメ、シジュウカラ、ヤマガラ、エナガ、キジバト、ハシボソガラス、ハシブトガラス、カケス、ムクドリ、ヒヨドリなどが食べにくる。幹にコゲラの姿もある。12月20日、植木畑でシジュウカラの群れにヤマガラ1羽。今季ここでの初認。12月28日、公園北入口付近の林床でシロハラ成鳥が採餌。今季ここでの初認。数年前に見た幼鳥が成鳥になって戻ってきたのだろうか？（長嶋宏之）。

川口市の芝川上根橋付近 (53396507) ◇12月9日、芝川の土手で50羽ほどのオオバンの群れ（荒木健一）。

さいたま市岩槻区岩槻文化公園 ◇12月12日、元荒川にホシハジロとオオホシハジロのハイブリッドと思われる個体が1羽、ゆっくりと泳いでいた。嘴の色はホシハジロで頭から嘴までの形はオオホシハジロで体は灰白色だった（内田克二）。

さいたま市見沼区上山口新田～浦和区三崎 (53396572) ◇12月15日、ヨシゴイ♂1羽が芝川右岸から左岸に飛んで岸辺に低く垂れている木に降りた。この季節にこんな場所だと驚いた。そのほか、キジ、コガモ、カイツブリ、アオサギ、コサギ、バン、オオバン、カワセミ、モズ、オナガ、シジュウカラ、ヒバリ、ヒヨドリ、ムクドリ、アカハラ、ツグミ、ジョウビタキ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、カワラヒワ、シメ、ホオジロ、アオジなど（森本國夫）。

さいたま市岩槻区岩槻文化公園 ◇12月16日、村国池でカワセミが池中央の立札に止まっており、時々池にダイビングしていた。その後池対岸の木に移動（野口保男）。

久喜市久喜菖蒲公園 12月17日、オナガガモ、ヒドリガモ、ヨシガモ、コガモ、トモエガモ、ホシハジロ、マガモ、カルガモ、キン

クロハジロのカモ類9種。他に亜種ダイサギ、コサギ、アオサギ、ゴイサギ、カンムリカイツブリ、オオバン、カワセミ、セグロカモメ等。12月21日、オナガガモ、ヒドリガモ、ヨシガモ、コガモ、ホシハジロ、マガモ、カルガモ、キンクロハジロ、ミコアイサ♀、ハシビロガモのカモ10種。他に亜種ダイサギ、カワウ、カワセミ、ミヤマガラス、ジョウビタキ♀、ツグミ、コゲラ、セグロカモメなど（長嶋宏之）。

幸手市中川河川敷 (54390691) ◇12月17日、アオサギ2羽、カワウ2羽、カイツブリ2羽、コガモ9羽、バン1羽、イソシギ1羽、イカルチドリ1羽、ツグミ12羽、ヒヨドリ52羽、シジュウカラ2羽、ムクドリ8羽、キジバト7羽、ハクセキレイ2羽、セグロセキレイ2羽、モズ1羽、カワラヒワ21羽、スズメ19羽など（荒川貴之）。

さいたま市岩槻区川通公園 (53397548) ◇12月18日、ジョウビタキ、カワラヒワ。12月19日、シメ、カワラヒワ、メジロ、ヒヨドリ、スズメ、ハクセキレイ（野口保男）。

さいたま市桜区鴻沼川 ◇12月21日、新開橋付近でオオバン多数、コガモ♂2羽♀2羽、マガモ♂3羽♀3羽、ヨシガモ♂5羽♀5羽、カルガモ7羽、ハクセキレイ、キジバトなど（陶山和良）。

さいたま市南区白幡沼 ◇12月21日、カワセミ、カルガモ、ヒヨドリ、ムクドリ。薄氷が沼面の30%を覆っていて、ハクセキレイが氷の上を歩いていた（陶山和良）。

さいたま市南区笹目川 ◇12月21日、瓶尻橋の100m下流でカワセミ、ダイサギ、コサギ、アオサギ、イソシギ、カルガモ、ハクセキレイ、キジバト、ヒヨドリ、ムクドリ（陶山和良）。

坂戸市西坂戸1丁目 ◇12月22日午前11時30分、西坂戸調整池手前の草地の冬枯れの低木（高さ3m程）、つる性植物の巻きついた枝に、キジ♂1羽がとまっていた。キジがこんな高い木の枝にいるのは初めて見た！調整池にダイサギ1羽。オオバン1羽がバン1羽と並んで水面を行動。この調整池でオオバンは初めて。カルガモ・コガモの群

れ、マガモ♀各1羽。水面に張り出した木の枝に、ゴイサギ若鳥1羽(増尾 隆)。

さいたま市岩槻区高曽根 ◇12月28日、電線上の約15羽のスズメの群れを何度も空中からコチョウゲンボウ♀が襲うも失敗。南南東へ去る。ケリ1羽が佇む(鈴木紀雄)。

白岡市白岡総合運動公園 ◇12月30日、マガモ、カルガモ、ハシビロガモ、コガモ、オオバン、バン、ハクセキレイ等(長嶋宏之)。

白岡市西2丁目 N36.0136 E139.6496 ◇12月30日、元荒川八幡橋下流でコガモ♂2羽♀2羽、イカルチドリ2羽、ハクセキレイ3羽、セグロセキレイ2羽、カイツブリ1羽、セグロカモメ1羽、チョウゲンボウ♀1羽など(長嶋宏之)。

渡良瀬遊水地 ◇1月1日、チュウヒ10羽、ハイイロチュウヒ♂1羽、ノスリ、コチョウゲンボウ2羽など(鈴木紀雄)。

川越市府川 ◇1月2日午後12時20分頃、釘無橋の上空をコハクチョウ7羽ほどの群れが飛んでいた。川島町の白鳥渡来地から時々下ってくるようだ(大畑祐二)。

さいたま市見沼区見沼自然公園 ◇1月4日、オナガガモ、ヒドリガモ、カルガモ、コガモ、オカヨシガモに混じってトモエガモ♀1羽が間近で見られる。あまり人を恐れず、他のカモを引き連れて、陸に上がり採餌。他にシロハラ、カケス、ルリビタキ♀3羽など(鈴木紀雄)。

さいたま市見沼区膝子 ◇1月4日、田んぼでノスリ1羽、タゲリ3羽、カシラダカの小群、モズ、スズメの大群など。1月16日早朝、県道の電線にミヤマガラス約80羽とともにコクマルガラス12羽、その内1羽は白色型(鈴木紀雄)。

吉見町吉見大沼 ◇1月6日、カモの群れの中にアメリカヒドリ♂1羽(榎本秀和)。

久喜市菖蒲町下栢間 ◇1月9日午後2時45分、元荒川土手上空でチョウゲンボウ1羽、ノスリ1羽。小が大を追い立てる(小貫正徳)。

春日部市大沼1丁目(53397559) ◇1月7日午後4時15分頃、交差点防災センターの北側の道路沿いの電線に東方からハト1羽が

飛来しとまる。よく見るとシラコバトだった(石川敏男)。

春日部市不動院野(54390601) ◇1月11日午後、シラコバト生息調査の一環で春日部市不動院野に行く。午後3時5分、不動院野香取神社近くの人家を囲む小さな屋敷林でシラコバト成鳥2羽(下写真)が仲良く



枝にとまっていた。同日午後4時頃、別の人家の高木からノスリが飛び出した。近くの倉松川の堰堤辺りに移動したところ、左岸の土手にノスリ2羽が下りていた。大きさに差があり、小さい方はすぐに西へ飛び去り、残った大きい方はハシトガラス2、3羽に追われて南東へ飛去。その際、反転して翻ったところを見ると尾羽先端に黒いバンドがあり、ケアシノスリではないかと思われる(石川敏男)。

坂戸市浅羽ビオトープ ◇1月13日午前8時15分頃、万葉橋右岸袂の林で枝移りするイカル20羽ほどの群れ。橋の上から見下ろす水路にキセキレイ1羽。上流に向かうと流れを歩くタシギ1羽。下流からブルーのラインを引いて杭にとまるカワセミ♂1羽。数度水中にダイビングしては杭に戻る。餌捕りより水浴びの様に見えた!? 水辺際の本立にジョウビタキ♀1羽。青空をバックに飛来し、水路に降り立つ亜種オオダイサギ1羽。冬鳥の主役ベニマシコの姿なし。残念!!(増尾 隆)。

表紙の写真

スズメ目ヒタキ科キビタキ属オジロビタキ
2011年1月3日、さぎ山記念公園で撮影。
p2にある通り、翌日の探鳥会でもゆっくり観察できました。 海老原実夫(さいたま市)



行事案内



メジロ(プリングマン・ウイリアム)

「要予約」と記載してあるもの以外、予約申し込みの必要はありません。集合時間に集合場所にお出かけください。初めての方は、青い腕章の担当者に「初めて参加します」と声をおかけください。参加者名簿に住所・氏名を記入、参加費を支払い、鳥のチェックリストを受け取ってください。鳥が見えたらリーダーたちが望遠鏡で見せてくれます。体調を整えてご参加ください。

参加費:中学生以下無料、会員100円、一般200円。

持ち物:筆記用具、雨具、昼食、ゴミ袋。持っていれば、双眼鏡などの観察用具もご用意ください。なくても大丈夫です。

解散時刻:特に記載のない場合正午から午後1時ごろ。

悪天候の場合は中止、小雨決行です。できるだけ電車バスなどの公共交通機関を使って、集合場所までお出かけください。間際に時刻表が変更される場合もあります。ご注意をお願いします。

鉄道・バスのダイヤ改正の時期です。この案内は、執筆当時の情報に基づいていますので、変更があるかもしれません。ご注意ください。

北本市・石戸宿定例探鳥会

期日：4月1日(日)

集合：午前9時、北本自然観察公園駐車場(学習センター建物改修中のため)。

交通：JR高崎線 北本駅西口から、北里メディカルセンター病院行きバス8:36発で「自然観察公園前」下車。

担当：吉原(俊)、相原(修)、相原(友)、秋葉、浅見(徹)、大坂、大畑、岡安、近藤、柴田、立岩、千葉、飛田、内藤、永野、村上、吉原(早)

見どころ：恒例のお花見探鳥会です。木道のエドヒガンは葉桜？ 桜堤のソメイヨシノは満開？ 国指定の天然記念物・石戸蒲桜まで足を延ばす？ 鳥の出次第です。昨年は、ジョウビタキ、ツグミ、シメなどの冬鳥に加えて、サシバやツバメの夏鳥を確認した人も。

さいたま市・民家園周辺定例探鳥会

期日：4月1日(日)

集合：午前9時、浦和くらしの博物館民家園 駐車場、念仏橋バス停前。

交通：JR浦和駅東口①番バス乗り場から、東

川口駅北口行き8:37発で「念仏橋」下車。
担当：伊藤、大井、須崎、高崎、手塚、野口、藤田、若林

見どころ：今年も来てくれているであろう夏鳥たち、そして春の花たちを見ながら見沼代用水東縁周辺を歩きます。見沼田んぼの春を存分に楽しみたいと思います。

ご注意：第一調節池方面には、行かない予定です。調節できる服装で、お越しくください。

熊谷市・大麻生定例探鳥会

期日：4月8日(日)

集合：午前9時30分、秩父鉄道 大麻生駅前。

交通：秩父鉄道 熊谷9:09発、または寄居8:50発に乗車。

担当：榎本、新井、倉崎、田島、千島、飛田、中川、村上、茂木

見どころ：春です。野鳥の森も春いっぱいです。思いがけない出会いを探して歩きます。

長瀬町・宝登山探鳥会

期日：4月8日(日)

集合：午前9時50分、秩父鉄道 長瀬駅前。

交通：秩父鉄道 熊谷8:52→寄居9:21→長瀬9:43。または御花畑8:59/9:26→長瀬9:19/9:47。

解散：12時半ころ、宝登山山頂ロープウェイ 駅前広場。

担当：井上、鶴飼、佐久間、堀口、松下

見どころ：桜の見ごろ、鳥は移動の季節。何

が見られるか？ お楽しみに！

その他：山歩きなので、のどが渇きます。飲み物、お菓子があれば安心です。

さいたま市・三室地区定例探鳥会

期日：4月15日（日）

集合：午前9時、さいたま市立浦和博物館前。

交通：JR北浦和東口に8:15までに下車し、正面信号を左側から渡り、50m先左手バスターミナルから8:23発東武バス「さいたま市立病院行」で、終点下車。駅に案内人の迎えはありません。

後援：さいたま市立浦和博物館

担当：小林(み)、青木、浅見(健)、浅見(徹)、楠見、小菅、須崎、新部、畠山、増田

見どころ：芝川沿いが菜の花色に染まり、ヒバリ、ホオジロ、シジュウカラのさえずりが満ちあふれる季節です。夏鳥との出会いを楽しみにお出かけください。

春日部市・内牧公園探鳥会

期日：4月15日（日）

集合：午前9時15分、アスレチック広場前・第一駐車場。

交通：東武春日部駅西口、朝日バス③番乗り場から春日部エミナース行き8:41発で、「共栄大学入口」下車。西へ徒歩約7分。

担当：石川、佐藤、佐野、進士、野村、橋口
見どころ：冬の鳥と夏の鳥たちが入れ替わる新緑の季節。昨年はキビタキ雄が姿を見せてくれました。雑木林や屋敷林、蓮池や田んぼ、草地、用水路沿いを歩き、谷津田、里山の風景を眺めつつゆっくり見て回しましょう。

※帰路バス時刻：13:07、14:20（2月現在）。

埼玉 Young 探鳥会 さいたま市・秋ヶ瀬公園

期日：4月21日（土）

集合：【電車の方】午前8時20分、JR浦和駅西口。集合後、路線バスで現地へ。【車の方】午前9時、桜区役所バス停付近（桜区役所内の駐車場は有料）。

担当：廣田、石塚(敬)、石塚(奏)、河邊、島

崎、高崎

見どころ：秋ヶ瀬公園までの田園で、春らしさを感じるキジ、ヒバリ、ツバメ、オオヨシキリ。公園内ではキビタキ、オオルリなどの夏鳥の通過に期待しましょう！ヤングな皆様、親子連れ、初心者の方々のお越しをお待ちしております！

お知らせ：「ビギナー探鳥会」を同時開催。

『しらこぼと』袋づめの会

とき：4月21日（土）午後3時～4時ころ

会場：会事務局108号室

東京都・葛西臨海公園探鳥会

期日：4月22日（日）

集合：午前8時30分、葛西臨海公園駅前。

交通：JR京葉線 東京8:15→新木場8:25→葛西臨海公園8:28着

解散：正午ころ。

担当：菱沼(一)、小林(み)、菱沼(洋)、渡邊
見どころ：昨年は、レディース探鳥会でした。

男性も参加したいということで、今年是一般探鳥会としました。シギチと春の渡りの小鳥を期待。

さいたま市・秋ヶ瀬公園探鳥会

期日：4月25日（水）平日

集合：午前9時10分、桜区役所バス停付近。

交通：JR浦和駅西口②番バス乗り場から桜区役所行き8:32発で終点「桜区役所」下車。

担当：小林(み)、石塚(敬)、石塚(真)、海老原(教)、海老原(美)、新部、増田

見どころ：新緑がまばゆい秋ヶ瀬の森で一休みする、旅の途中のキビタキやサンショウクイ。会えたら最高ですが、そこは運次第。さあ、勇気を出して運だめし！

シギ・チドリ類県内調査

期日：4月29日（日・祝）

野鳥の会埼玉では、春と秋の2回、独自にシギ・チドリ類の調査を行っています。多くの会員の参加・ご協力をお願いします。

◆大久保農耕地（さいたま市）

集合：午前9時30分、荒川総合運動公園運動

2018年5月～8月の行事予定

探鳥計画を立てるのにご利用ください。変更されることもありますので、確定情報は、その月の会誌『しらこぼと』の行事案内でご確認ください。

| 月 | 日 | 曜日 | 探鳥地など |
|---|-------|-----|-------------------|
| 5 | 3 | 祝木 | 幸手市 宇和田公園 |
| | 5 | 祝土 | 千葉県 谷津干潟 |
| | 12 | 土 | 長野県 中軽井沢 レディース |
| | 12 | 土 | 加須市 加須はなさき公園 |
| | 13 | 日 | 熊谷市 大麻生 [定例] |
| | 13 | 日 | 栃木県 奥日光 (戦場ヶ原) |
| | 20 | 日 | さいたま市 三室地区 [定例] |
| | 26 | 土 | 群馬県 渡良瀬遊水地 ヤング |
| | 26-27 | 土-日 | 長野県 戸隠高原 (要予約) |
| 6 | 27 | 日 | 狭山市 入間川 [定例] |
| | 3 | 日 | 北本市 石戸宿 [定例] |
| | 3 | 日 | さいたま市 民家園周辺 [定例] |
| | 8 | 金 | 羽生市 羽生水郷公園 (平日) |
| | 10 | 日 | 熊谷市 大麻生 [定例] |
| | 17 | 日 | さいたま市 三室地区 [定例] |
| 7 | 24 | 日 | 支部総会 (午後) |
| | 1 | 日 | 群馬県 渡良瀬遊水地 |
| | 15 | 日 | さいたま市 三室地区 [定例] |
| 8 | 22 | 日 | 狭山市 入間川 [定例] |
| | 5 | 日 | 北本市 石戸宿 [定例] |
| | 12 | 日 | 千葉県 谷津干潟 |
| | 18 | 土 | 千葉県 ふなばし三番瀬海浜公園 |
| 9 | 19 | 日 | さいたま市 三室地区 [定例] |
| | 2 | 日 | リーダー研修会 |
| | 23-24 | 日-月 | 長野県 白樺峠・上高地 (要予約) |

5月～8月「あの鳥は、どこで」予報

探鳥会が少ないので、臨時に復活させました。2013～2017年の5月から8月の探鳥会における出現率 (出現回数/実施回数) です。今年設定されている探鳥会のみを示します。

- シラコバト (5月に宇和田公園で100%)
- ヨシゴイ (7月に群馬県渡良瀬遊水地で75%)
- ササゴイ (5月と7月に入間川で100%、7月に群馬県渡良瀬遊水地で50%)
- チュウサギ (5月に黒浜沼で50%)
- ホトトギス (5月に戸隠で100%、6月に大麻生で75%)
- カッコウ (5月に戸隠で100%、6月に石戸宿で60%、羽生水郷公園で50%、7月に群馬県渡良瀬遊水地で100%)

- ヒメアマツバメ (入間川で7月に80%、5月に60%)
- ムナグロ (5月に宇和田公園で60%)
- コチドリ (5月に宇和田公園、三室、入間川で80%、黒浜沼で75%、谷津干潟で60%、はなさき公園で50%、6月に三室で100%、羽生水郷公園で75%、8月に谷津干潟で67%)
- コアジサシ (6月に民家園で60%、羽生水郷公園で50%、7月に群馬県渡良瀬遊水地で75%、8月に三番瀬で60%)
- カワセミ (5月に三室と黒浜沼で100%、6月に石戸宿で100%、民家園で80%、7月に三室と入間川で80%、8月に三室と石戸宿で60%)
- コムドリ (5月に中軽井沢で100%、7月に三室で60%)
- キビタキ (5月に戸隠、奥日光、中軽井沢で100%、入間川で80%、6月に石戸宿で40%)

5月～8月「たくさん見える！」予報

2013～2017年の5月から8月の探鳥会で見られた野鳥は、県内で81種、県外で159種でした。多種を見たい人のために、5年間の月ごとの出現鳥種数が多い順に探鳥会を並べてみました。今回は、探鳥会の数が少ない季節なので、県外も含めたランキングにしました。

| | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 |
|----|----------|---------|----------|--------|
| 1 | 戸 隠 | 民家園 | (乗鞍-上高地) | 谷津干潟 |
| 2 | 奥日光 | 高麗川 | 群馬渡良瀬 | 三番瀬 |
| 3 | 谷津干潟 | 石戸宿 | 入間川 | 石戸宿 |
| 4 | 黒浜沼 | 大麻生 | (大麻生) | 三 室 |
| 5 | (浮島-小見川) | 羽生水郷 | (森林公園) | (大麻生) |
| 6 | 中軽井沢 | 群馬渡良瀬 | 三 室 | — |
| 7 | 入間川 | (新潟銀山平) | (伊佐沼) | — |
| 8 | (三宅島) | 三 室 | — | — |
| 9 | 宇和田公園 | — | — | — |
| 10 | 大麻生 | — | — | — |
| 11 | (栃木県民の森) | — | — | — |
| 12 | はなさき公園 | — | — | — |
| 13 | (栃木小倉山) | — | — | — |
| 14 | 三 室 | — | — | — |
| 15 | (緑の森) | — | — | — |
| 16 | 群馬渡良瀬 | — | — | — |
| | 64～27種 | 39～26種 | 46～25種 | 46～23種 |

() 付き：今回は設定されていない探鳥会

註：「群馬県渡良瀬遊水地」とは、板倉東洋大駅 (群馬県内) 集合の渡良瀬遊水地探鳥会のことです。



行事報告

9月24日(日) 狭山市 入間川 Beginner

参加: 39名 天気: 晴

カルガモ カイツブリ キジバト カワウ イカルチドリ トビ カワセミ コゲラ モズ ハシボソガラス ハシブトガラス ヤマガラ シジュウカラ ツバメ ヒヨドリ イソヒヨドリ スズメ ハクセキレイ セグロセキレイ カワラヒワ ホオジロ (21種) (番外: ドバト) 入間川の河川敷に到着するとトビが上空で“くるり”とお出迎え。何故か当地に居つくイソヒヨドリの登場は、その珍しさが伝わっただろうか? 最後はヤマガラスの細かい動きに翻弄され……。30名を超す参加者に「ビギナー」需要を再認識。(石塚敬二郎)

10月1日(日) 北本市 石戸宿

参加: 51名 天気: 快晴

カルガモ コガモ カイツブリ キジバト アオサギ ダイサギ オオタカ ノスリ コゲラ アカゲラ モズ カケス ハシブトガラス ヤマガラ シジュウカラ ヒヨドリ エナガ メジロ スズメ ハクセキレイ (20種) 青空にノスリやオオタカが舞った。エナガ、シジュウカラ、メジロ、コゲラの混群に遭遇。南に渡る途中のカケスやヒヨドリの群れを何度も見た。双眼鏡を覗くと多数の赤とんぼ。ミゾソバ、ワタラセツリフネソウ、キツリフネ、アサザの花も綺麗で、秋を満喫。前日見られたオンドリは出ず、残念。(吉原俊雄)

10月1日(日) さいたま市 民家園周辺

参加: 73名 天気: 晴

オカヨシガモ ヨシガモ ヒドリガモ マガモ カルガモ ハシビロガモ オナガガモ コガモ カイツブリ ハジロカイツブリ キジバト アオバト カワウ ゴイサギ アオサギ ダイサギ コサギ バン オオバン ツツドリ アマツバメ イソシギ トビ ハイタカ オオタカ カワセミ アリスイ コゲラ チョウゲンボウ モズ カケス ハシボソガラス ハシブトガラス シジュウカラ ツバメ ヒヨドリ ウグイス エナガ メ

ジロ ムクドリ ノビタキ スズメ ハクセキレイ ホオジロ (44種) (番外: ドバト) 2日前から天気が良く、渡りの鳥達は、あまり出てくれないのではないかと、ちょっと心配していた。でも出発してみると、それは杞憂だった。ツツドリもじっくり観察でき、ノビタキも良いところにとまってくれた。カモ類も8種。ビックリしたのはアオバトの出現! (伊藤芳晴)

10月8日(日) 熊谷市 大麻生

参加: 52名 天気: 晴

カルガモ カイツブリ キジバト トビ ツミ オオタカ サシバ ノスリ コゲラ モズ カケス ハシボソガラス ハシブトガラス ヤマガラ シジュウカラ ショウドウツバメ ツバメ イワツバメ ヒヨドリ エナガ メジロ ノビタキ キビタキ スズメ ハクセキレイ セグロセキレイ カワラヒワ ホオジロ (28種) (番外: ドバト、ガビチョウ) さわやかな秋晴れの空でノスリが舞い、オオタカとツミのバトルが繰り広げられる。ショウドウツバメの群翔を見ながら草原を進むと、期待のノビタキが出現。鳥合わせ中にキビタキの地鳴きも聞こえ、満足の探鳥会。(新井 巖)

10月14日(土) 加須市 渡良瀬遊水地

参加: 32名 天気: 曇

ヒドリガモ マガモ カルガモ コガモ ホシハジロ カイツブリ カンムリカイツブリ キジバト カワウ ゴイサギ アオサギ ダイサギ コサギ キアシシギ ユリカモメ トビ チュウヒ カワセミ コゲラ チョウゲンボウ ハヤブサ モズ オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス シジュウカラ ヒバリ ショウドウツバメ ツバメ ヒヨドリ ウグイス エナガ ムクドリ スズメ ハクセキレイ セグロセキレイ カワラヒワ ホオジロ (38種) (不明種: カッコウ科1、チドリ科1) 小雨はあがったものの曇り。辛うじてカンムリカイツブリが間に合ったが、その他の水鳥はまだまだ。終始賑やかだったのは、上空を飛び交うツバメとショウドウツバメ。猛禽はトビ、チョウゲンボウ、ハヤブサに加え、終盤でやっとチュウヒが雄姿を見せてくれた。(佐野和宏)

10月14日(土) 東京都 多摩動物公園 Young

参加: 26名 天気: 曇時々雨

コガモ アオサギ コゲラ アオゲラ ハシボソ
ガラス ヤマガラ シジュウカラ ヒヨドリ エ
ナガ スズメ キセキレイ ハクセキレイ (12種)
(番外: ドバト、ガビチョウ) 前半は動物解説
員さんによるレクチャー。まずは鳥の体のつくり
と羽の解説をいただいたあとは、猛禽類のペリッ
トの分解、鳥の羽の顕微鏡による観察など、普段
は体験できないようなことばかり。後半は動物園
を回って園内の展示鳥類の解説を聞きながら、園
内の野鳥を探した。日本ではなかなか見られない
鳥がいて、おおいに楽しめた。園内の野鳥はまだ
冬鳥には早かったが、大満足の日。(廣田純平)

10月15日(日) さいたま市 三室地区

雨のため中止。(須崎 聡)

10月21日(土) 『しらこぼと』袋づめの会

ボランティア: 9名

相原修一、宇野澤晃、海老原教子、海老原美夫、
大坂幸男、小林みどり、佐久間博文、志村佐治、
藤掛保司

10月21~22日(土~日) 長野県 戸隠高原

参加: 18名 天気: 21=曇、22=雨

マガモ オナガガモ コガモ カイツブリ トビ
コゲラ アカゲラ アオゲラ カケス ハシボソ
ガラス コガラ ヤマガラ ヒガラ シジュウカ
ラ ヒヨドリ ウグイス エナガ メジロ ゴジ
ュウカラ キバシリ ミソサザイ マミチャジナ
イ アカハラ ツグミ キビタキ ムギマキ オ
オルリ スズメ アトリ ホオジロ カシラダカ
(31種) 台風の接近する中、土曜日はどうか
天候が持ちそうであったのでムギマキに専念す
ることとし、前もって情報のあったクマノミズキの
場所まで移動した。そこには、カメラマンが20名
程度、私達を加えとかなりの大所帯となった。
ムギマキの綺麗な成鳥雄と若鳥、マミチャジナイ、
キビタキ、コゲラ等が観察できた。とりあえず、
目的は達成したので、どうか昼食のとれる、モ
ミノ木園地まで移動した。昼食後は隋神門からシ
ラカバ平を経て、再びムギマキの場所に立ち寄り
宿に戻った。翌日は雨のため遅い出発なので、夕
食はお酒も進み、大いに盛り上がった。朝、起き
るとやはり雨。植物園に着くと小降りになったた
め、再びムギマキへ。とにかく、ムギマキ中心の

探鳥会だった。(途中判別できなかった小鳥は写真
からオオルリ雌と判断した)。(菱沼一充)

10月22日(日) 行田市 さきたま古墳公園

雨のため中止。(相原修一)

10月29日(日) 松伏町 まつぶし緑の丘公園

雨のため中止。(橋口長和)

11月3日(金、祝) 行田市 利根大堰

参加: 36名 天気: 快晴

キジ オカヨシガモ ヨシガモ ヒドリガモ マ
ガモ カルガモ ハシビロガモ オナガガモ コ
ガモ ホシハジロ キンクロハジロ カイツブリ
カンムリカイツブリ ハジロカイツブリ キジバ
ト カワウ アオサギ ダイサギ コサギ オオ
バン イソシギ セグロカモメ トビ ノスリ
モズ ハシボソガラス ハシブトガラス シジュ
ウカラ ヒバリ ヒヨドリ ジョウビタキ スズ
メ ハクセキレイ セグロセキレイ カワラヒワ
ホオジロ (36種) (番外: ドバト) 絶好の探鳥日
和。午後からは、季節外れの陽気で暑い! 利根
大堰から水面に浮かぶカモ達をのんびりと見る。
カンムリカイツブリの「白」が良く目立つ。台風
の大雨の影響で水門を開けたので川の水量が多か
った。その為、お目当てのサケの遡上を見る事が
できなかった。残念! (入山 博)

11月4日(土) 上尾市 丸山公園

参加: 34名 天気: 曇

キジ マガモ カルガモ カイツブリ キジバト
カワウ オオバン オオタカ カワセミ アリス
イ コゲラ モズ カケス ハシボソガラス ハ
シブトガラス シジュウカラ ヒヨドリ ウグイ
ス エナガ メジロ ムクドリ ジョウビタキ
キビタキ スズメ キセキレイ ハクセキレイ
セグロセキレイ ビンズイ カワラヒワ シメ
ホオジロ アオジ (32種) 開始前から、モズ、
ジョウビタキが秋の到来を告げている。大池のあ
たりで、梢にシメの姿。今季初見で一同大喜び。
セキレイ3種も出そろい、後からビンズイも加わ
る。林間広場では、梢にキビタキの♀。自然学習
館裏でホオジロを観察中に飛び込んで来たのはア
リスイ。両者の睨めっこを一同で観察。空にはオ
オタカも舞い、充実した探鳥会。(近藤龍哉)



●さいたま市緑区環境講演会開催

1月28日(日)午後2時から4時まで、緑区役所大会議室で、当会の楠見邦博監事が実行委員として参加している緑区環境講演会実行委員会が主催、当会等が後援した講演会が開催されました。

今回は「見沼を食らう part II」～見沼たんぼの農業と市民の力～というテーマのもと、第1部は「さいたま市農業のビジョン」と題して市担当者が講演、第2部は見沼たんぼで実際に農業活動をする市民団体のの方々によるパネルディスカッションが行われ、参加者は42名でした。

この講演会は本年度で終了となりました。当会は15年間後援を続け本誌で広報もしました。2016年2月には当会代表海老原美夫が144名の聴衆の前に「世界につながる見沼たんぼの野鳥たち」のテーマで講演したこともあり、団体としての支援活動、見沼たんぼの環境保全に協力しました。

●見沼・さぎ山交流ひろば第4回運営会議

2月15日(木)さぎ山記念館で開催され、小林みどり当会副代表が参加しました。「みぬま秋フェス2017」の結果報告、「見沼たんぼクリーンウォーク」実施について、「私の好きな見沼たんぼ」写真コンクール、など。

●会員の普及活動

彩の国シニア自然大学校野鳥観察講座第4回が北本自然観察公園で1月31日(水)に開催され、小林みどり副代表が指導しました。本講座は、これで終了になりました。

●埼玉県鳥獣保護管理員推薦

前年度に引き続き、小荷田行男・小林みどり・橋口長和の3名を推薦しました。

●会員数は

3月1日現在1,634人です。

活動と予定

● 2月の活動

2月10日(土) 3月号校正(海老原教子、海老原美夫、小林みどり、佐久間博文、藤掛保司、長嶋宏之)。

2月18日(日) 役員会(司会:長谷部謙二、各部の報告・5～8月の行事予定・その他)

2月19日(月) 『野鳥』誌を購読しない会員向け、『しらこぼと』3月号を郵便局から発送(海老原美夫)。

● 4月の予定

4月7日(土) 編集部会。

4月8日(日) 熊谷市内で普及部情報交換会(大麻生探鳥会終了後)。

4月14日(土) 5月号校正(午後4時から)。

4月15日(日) 役員会(午後4時から)。

4月21日(土) 袋づめの会(午後3時から)。

編集後記

2月末の17時頃、越谷市増林上空。東から飛来する300羽以上のミヤマガラスの群れ。大きな渦をつくり、やがてほどけるように峙に向かう。そのような群れが3つも4つも続く。渦で飛んでいるときは興奮状態にあるようにも見える。そろそろ大陸へ帰るのだろうか。(山部)

しらこぼと 2018年4月号(第409号) 定価200円(会員の購読料は会費に含まれます)
 発行人 海老原美夫 編集発行 日本野鳥の会埼玉(〒330-0064 さいたま市浦和区岸町4丁目26番8号 プリムローズ岸町107号) TEL 048-832-4062 FAX 048-825-0460
 郵便振替 00190-3-121130 http://www.wbsj-saitama.org 事務局 office@wbsj-saitama.org
 編集部への原稿 yamabezuku@hotmail.com 編集部への野鳥情報 toridayori@hotmail.com
 住所変更退会などの連絡先は 〒141-0031 品川区西五反田3丁目9番23号 丸和ビル
 (公財)日本野鳥の会会員室 TEL03-5436-2630 FAX03-5436-2635 gyomu@wbsj.org
 本誌掲載記事はホームページに転載される事があります。本誌またはホームページからの無断転載は、かたくお断りします。 印刷 関東図書株式会社